

7. 「子育てにやさしいまちの空気」をつくる！～市民による市民・行政・企業三方ハッピープロジェクト～ (応募チーム:みやまえ子育て応援だん(川崎市宮前区))

(評価)

現役の子育て中のママさんたちが、実際に子供を連れて街に住んでいるときに困っていることに着目して、その解決のためお互いに協力して取り組んでいるプロジェクトである。特に①街の建物や施設といったハードではなくて子育てに優しい街の空気(ソフト)を作ること、②ママさんたちの市民とママさんたちが利用するお店と子育てに優しい街の空気づくりに賛同する行政の三方が同じ目標に向かって協働していることを評価したい。これからもこの三方ハッピーを旗印に進めていかれることを期待する。

この企画のもう一つの特徴はステッカーという現場で目に見えるものを使って子育てを応援してくれる場所をわかりやすく示そうというところにある。

応募チームの調べによると、孤独感を味わっている子育て中のママさんたちが半数以上いるというデータがある。これは地域コミュニティが十分機能しなくなってきたことも一つの原因だと思われるが、応募チームの活動が拡大していけば、地域の共同体意識の向上にまで広がっていく要素を持っていると評価できる。

(アドバイス)

(1) 「みやまえ子育て応援だん」ステッカー貼付の拡大とマップ作成、認知度アップ

宮前区全体で「子育てに優しい街の空気」をつくるには、ステッカー貼付がどこにされているのか、それが地域全体でわかりやすくマップ化されていることが大切だと考えます。このため提案されたアイデアにあるような全世帯に配る紙の「マップ」もさることながら、スマホ上でステッカーが貼付されている場所(お店、医療機関、施設)を地図上で一目で示してくれるアプリを開発されては如何でしょうか。この開発の第一歩としては、アプリを使ってみたいと思わせるアイデア出しワークショップも有効だと思います。その際、ステッカーで示す位置の情報とともにどのような応援が受けられるかは大事な情報なので、マップ化の際にもそれが一目でわかるような工夫も期待したいところです。さらに、「みやまえ子育て応援だん」のメンバーに限らず、広くマップ上に自主的に対象候補の場所を示してもらい、「みやまえ子育て応援だん」でそれを確認して(あるいはいいねボタンで)ステッカー貼付の拡大していくことも検討されては如何でしょうか。

また、このプロジェクトの認知度アップ方策として、例えば、宮前区に転入してくるママが住民票転入届を出す際や出生届を出す際に、区の窓口で応援だんの活動チラシなどを配布するなどの工夫はいかがでしょう。また元来区役所の事業を契機に生まれてきた活動でもあり、区役所のウェブサイトリンクを貼ることが可能であればそれも良いかと思います。

(2) 「みやまえ子育て応援だん」対象サービスの拡大

これからの時代はシェアリングエコノミーの時代ともいわれています。子育て応援のための特定の場所でのサービスだけでなく、ママ、パパ、祖父母など子育てにかかわる人たちそれぞれに欲しい各種情報のわかりやすくもれないマップ上での提供を通じて、それを元に子育てにまつわる各種サービスの横の連携や交通移動概念を取り入れたサービスを促す知恵出しのイベントなどをされてみては如何でしょうか。

(3) 子育てにやさしい街からみんなにやさしい街への発展

提案されたアイデアにもある障害者、児童、高齢者、LGBTを含めた宮前区の社会包摂的な「応援だん」に発展して欲しいと思います。ここでもステッカーで応援を伝えていくことは視覚的にわかりやすく

重要です。なお進め方としては、一気にすべて手掛けるより、応募チームのみなさんから見えてくる現実のニーズからスタートするなり、ほかの既存の市民グループとの協働も視野に入れた活動の展開ができるとういかと思います。